

「向日町競輪場を考えるシンポジウム」を開催します

4月1日と8日。いずれも金曜日の夜7時から

キャンパスプラザ京都第3会議室で

発起人は今井英和(NPO エコ通ステーション代表)連絡先は 090-7555-1777

事務局は 京都府自転車競技連盟 熊本 090-4906-2410

会の趣旨

2010年の9月から今年の1月まで4回の「競輪事業のあり方検討小委員会」が経済産業省の産業構造審議会車両競技分科会で開催されました。議事録を見るとなかなか的を射ている部分もあり参考になります。その結果報道されたのが競輪場を半分にすれば健全経営になるというJKAの発言ですが、議論は多岐にわたっており、そういう結論だけを読み取るというものではないようです。

資料が膨大でここでは紹介もできませんが、かいつまんで言いますとケイリンの売り上げは平成3年＝1991年をピークに年々落ちており、昨年では63%減となっています。関係者も黙って見ていたわけではなく、選手数の削減や、従業員数の削減、経費の削減などには取り組んだものの、赤字に転落する競輪場が増えている。関係団体が多く、広報など同じような業務を別々に行っていたりしており、改善の余地があるというものです。全体としてはケイリンや競輪場を残すにはどうしたらよいかというもので、議論の方向には歓迎できるものと思われま

大局はそうであっても、京都府自転車競技連盟や競技愛好者などにとってはホームバンクである向日町がどうなるのか、が最大の懸案です。「赤字で廃止が妥当」などと検討委が結論を出したようですが、知事の判断までには時間があるようです。また、向日市長選も今日から始まりました。そこで今日(4月1日)と8日にいろんな方々に知恵をいただき、存続できるよう何をしたらいいのか考えて見たいと思います。

1日のゲストは丹治良博 京都府自転車競技事務所 所長です。